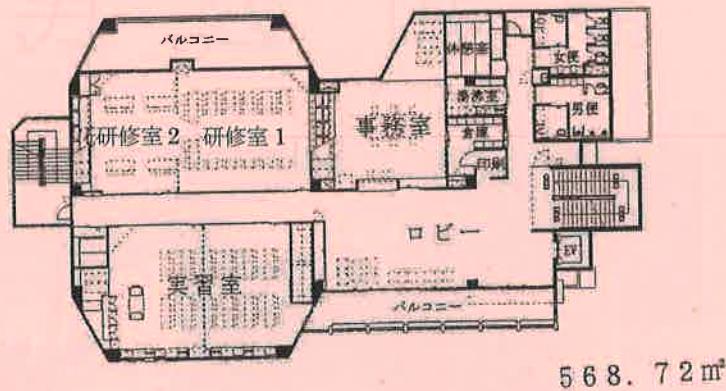


繁多川公民館

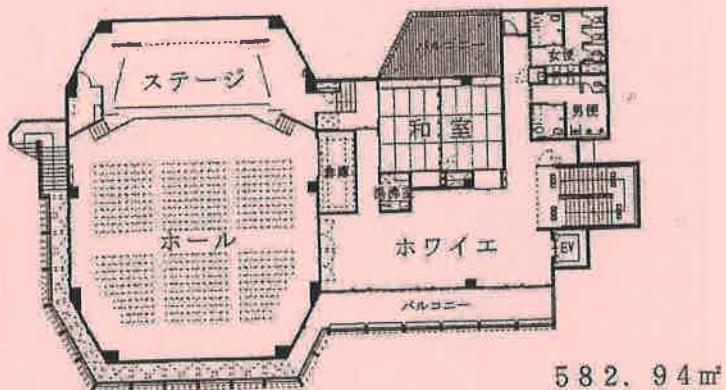


利用施設のご案内

2
階



3
階



部屋名	収容人員	用 途 (備 品)
ホール	200名程度	講演会・研修会 (ピアノ・イス・テーブル)
和室	30名程度	茶道・生け花・和裁・着付け等 (テーブル)
ロビー		談話コーナー (イス・テーブル)
野外広場		
研修室1	40名程度	研修会・講座・会議 (イス・テーブル)
研修室2	25名程度	研修会・講座・会議 (イス・テーブル)
実習室	25名程度	調理実習・研修会・講座・会議 (調理用器具・イス・テーブル)

I 繁多川公民館の沿革

「那覇市社会教育施設整備計画」（平成5年2月）に基づいて、那覇市で7番目の公民館として計画された繁多川公民館は、繁多川・真地・識名地区の生涯学習の拠点として、平成15年12月22日に建設が着手され、翌年の平成16年11月25日に竣工した。

施設の設計にあたっては、地域の方々の参加により開催されたワークショップの結果や、建設準備委員会からの要望を元に検討した結果、施設全体を段差のないつくりとし、広いエレベーターや階段対応のリフトを設置したユニバーサルデザインを探りいれた施設になっている。

周辺の環境整備に関しては、建設前の既存の木々を可能な限り残してみどりを確保するとともに、施設前や屋上に芝生の広場、屋上菜園等を設け施設の緑化に努めている。

また、大きな窓で採光を図るほか、屋上に降った雨を地下のタンクに貯水し、施設内のトイレ洗浄や散水に活用する等、環境に配慮した設計がなされている。

- 平成17年 1月5日 社会教育・スポーツ課 開館準備グループ（主査 田島壽博、主査 名渡山桂子、主査 平良尚子、主任主事 上江洲寛）で開館準備を進めるなか、業務の一部をNPO法人なはまちづくりネット（代表 田端温代）に委託された。
- 2月10日 館長 田島壽博が発令された。
- 4月 1日 那覇市繁多川公民館が発足された。
- 4月 2日 繁多川公民館及び図書館の開館式が行われ、利用団体・サークルへの公民館施設の提供が開始された。
- 6月 7日 開館記念講座「琉球漢詩とゆんたく話と詩吟」が開催された。
- 平成18年4月13日 繁多川公民館利用団体連絡協議会設立総会が開催された。
- 11月25日 第1回繁多川公民館まつり前夜祭（ダンスパーティー）が開催された。
- 11月26日 第1回繁多川公民館まつり開催。舞台発表や作品展示、活動紹介などが行われた。
- 平成19年4月 1日 館長 田島壽博が配置替えにより、館長 宇根克が発令された。
- 11月24日 11月24日、25日の両日にわたって、第2回繁多川公民館まつりが開催された。
- 平成20年4月 1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人なはまちづくりネット（代表 大城喜江子）への一部業務委託を継続することになった。
- 平成22年11月2日 第63回優良公民館として文部科学大臣表彰を受ける。
- 平成23年 4月1日 館長 宇根克が配置替えにより、館長 新垣絹代が発令された。
- 平成23年 4月1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人なはまちづくりネット（代表 大城喜江子）への一部業務委託を継続することになった。
- 平成25年3月28日 第14回「朝日のびのび教育賞」を受賞する。
- 4月 1日 館長 新垣絹代が退職により、館長 高吉情次が発令された。
- 平成26年4月 1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人1万人井戸端会議（代表 南信乃介）への一部業務委託をすることになった。
- 平成27年4月 1日 指定管理者導入により、新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人1万人井戸端会議（代表 南信乃介）への指定管理者が決定する。
- 令和 2年2月14日 第72回優良公民館として文部科学大臣表彰と相互評価特別賞を受ける。

II 令和元年度繁多川公民館事業目次

1 学習風景（写真）	137
2 成人一般対象事業	
〔1〕成人講座	
◇貴重種キバナノヒメユリ保全プロジェクト	138
〔2〕健康講座	
◇みんなで歩こう！真珠道	139
3 高齢者対象事業	
〔1〕高齢者学級	
◇出前講座 包括ケアプロジェクト	140
◇琉歌であたまの体操	141
◇見て！食べて！聞いて！真地を知ろう！	142
4 青少年対象事業	
〔1〕少年教室	
◇夏休み特別教室	143
〔2〕青年講座	
◇公民館でジュニアボランティア！	144
5 家庭教育事業	
〔1〕家庭教育学級	
◇出張保育「いしだエンジョイ育児」	145
6 その他の事業	
〔1〕地域連携事業	
◇あたいぐわーべロジエクト	146
◇真和志地区地域活性委員会	147
◇第19回 真和志地区スポーツレクリエーション大会	147
◇新春もちつき会	148
◇総合的学習プロデュース	149
◇第21回 識名園友遊会	150
◇ちいさなロビー展	151
◇いどばたごはん会	152
〔2〕学社融合事業	
◇職場体験受入れ&お仕事先生プロジェクト	153
〔3〕プロポーザル事業	
◇子どもの居場所支援	
『しきな小放課後子ども教室』	154
◇コミュニティー支援	
地域計画	155
グローバル公民館 エジプトと沖縄でグローバルミーティング	156
7 公民館まつり	157

1 学習風景



健康講座
【みんなで歩こう！！真珠道】



高齢者学級
【琉歌であたまの体操】



青年講座
【公民館でジュニアボランティア】



プロポーザル事業 子どもの居場所支援
【しきな小放課後子ども教室】



プロポーザル事業 コミュニティー支援
【地域計画】
～小規模避難訓練～



プロポーザル事業 コミュニティー支援
【グローバル公民館】
～エジプトと沖縄でグローバルミーティング～

2 成人一般対象事業

〔1〕成人講座

貴重種キバナノヒメユリ保全プロジェクト

趣 旨：「大石公園」、「キバナノヒメユリ」という身近な自然を活かしながら自然観察や実習を通して自然保全に努め、コミュニケーション・連携の活発化から住民参画や市民性教育を推進する。その中で持続可能な経済活動を考える材料とし、地域の誇れる花として活性化につなげる。

期 間：令和元年7月10日（水）～12月13日（金）全6回

時 間：学習プログラムにて異なる（下記参照）

場 所：繁多川公民館及びその周辺

対 象：キバナノヒメユリ里親／地域住民／近隣小学校

受 講 料：無料

定 員：無し

参加延べ人数：36人

連 携：那覇市環境保全課、那覇市文化財課
キバナノヒメユリ守る会(南城市)



<学習プログラム>

期 日	内 容	連 携	人 数
7月10日（水） 9:00～12:00	キバナノヒメユリ植替え	里親	3人
8月5日（月） 9:00～12:00	自生地開花調査	—	2人
8月16日（金） 17:30～18:30	太陽とキバナノヒメユリのタペ	那覇市環境保全課 那覇市文化財課	15人
8月22日（火） 9:00～12:00	自生地開花調査	—	6人
8月27日（月） 9:00～12:00	自生地観察	那覇市環境保全課 那覇市文化財課	5人
12月13日（金） 9:00～12:00	キバナノヒメユリ自生地 草刈り・抜根	那覇市環境保全課 那覇市文化財課	5人

(まとめ)

今年度は、前年度に播種したキバナノヒメユリを成長させ、里親募集に繋がる苗を育成することにも力を入れた。100株以上が芽を出し、里親の皆さんとポットに移して4名の方（合計8苗）に新たに里親となつていただいた。前年度からの開花調査でも増えもせず減りもせず、自生地を維持している。適切な草刈りや環境整備は引き続き、那覇市環境保全課や文化財課と連携し進めていく必要がある。里親の方々と次年度は学校教育との連携を深めていきたい。



《自生地見学》



《キバナノヒメユリのタペで歌を合唱》



《育苗する里親の方々》

[2] 健康講座

みんなで歩こう！！真珠道

趣 旨：識名坂の道路改良工事で見つかった石畳が、琉球王朝時代の真珠道の一部であると那覇市の調査により判明。約500年前に琉球王府が通ったとされる真珠道を実際に歩き、歴史の移り変わりを感じながら健康増進に努める。

期 日：平成31年4月13日（土）

時 間：7:00～12:00

場 所：首里城守礼門（スタート）～山下西公園（ゴール）

対 象：那覇市在住・在勤・在学及び関心のある方

受 講 料：無料（但し、保険料・材料費100円は自己負担）

定 員：50人

申込み人数：23人（うち受講決定人数10人）

参加延べ人数：23人

協 力：柴田一郎 氏（繁多川すぐりむん）



《首里城守礼門をスタート》



《金城町石畠》



《シチナンダビラ（識名坂）》



《500年前の石畠》



《真和志間切番所付近》



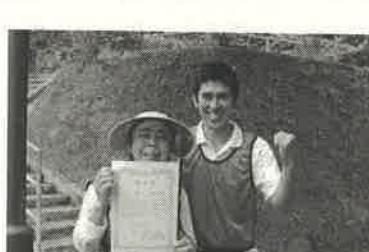
《真玉橋》



《未整備真珠道》



《山下西公園入口（ゴール）》



《完歩賞授与》

（参加者の声）

距離も長く、完歩できるか心配だったが、自分のペースを維持し続ければ完歩できた。
沢山の歴史文化財が見れたので、楽しみながら歩けた。

（まとめ）

2018年のシチナンダビラ（識名坂）道路改修で見つかった石畠が、琉球王朝時代の物だと判明。道路改修工事も終了し、未整備の真珠道も歩くことができ、歴史を感じられる講座となった。

各歴史的文化財前では、柴田一郎氏のミニ講話を行ったが、参加者の歩くスピードが異なり講話を聞ける方と聞けない方がいたので、次年度以降の開催では改善が必要。

3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

出前講座 包括ケアプロジェクト

趣 旨：真和志地域の那覇市地域包括支援センターのケア会議と協働し、高齢者福祉を切り口に自治会などのコミュニティ支援を行う。

期 日：令和元年7月6日（土）、9月1日（日）

時 間：10:00～12:00

場 所：那覇市繁多川公民館

対 象：那覇市在住・在勤・在学及び関心のある方

受 講 料：無料

定 員：各回50人

申込み人数：34人（7/6）・45人（9/1）（うち受講決定人数10人）

参加延べ人数：79人

共 催：真和志地区老人クラブ連合会

協 力：那覇市地域包括支援センター繁多川、ハンタガーランドくとうば会

期 日	内 容	講 師
7月6日（土）	「沖縄の土俗宗教と祖先崇拝について」	國吉 信雄 氏 (元真和志地区老人クラブ連合会会長)
9月1日（日）	「沖縄と中国福建省の民俗的繋がり」	施 堯 氏（東京大学院生）

（アンケートより）

國吉さんの話は、母から教えられていたことが理にかなっていたことがわかった。伝え続けなければならないと感じた。

施さんの話は大変、勉強になった。日本や沖縄と中国との懸け橋として若い世代で交流し、世界を切り開いていってほしい。私たちの祖先がそうしてきたように。そして平和な社会を実現してほしい。

（まとめ）

今年度は、真和志地区老人クラブ連合会からの提案もあり、國吉氏による土俗宗教と祖先崇拝について講演を企画した。普段の沖縄の風習とも関係が深いため高齢者の皆さんの関心も高く、雨の中、多くの方が受講された。質疑応答では、仏壇に供える線香の数や、今の風習となった背景など活発な質問があり、有意義な場となった。また、那覇市地域包括支援センター繁多川より、高齢者のよろづ相談の役割を伝え、簡単にできる体操を紹介し、高齢者の健康づくりをサポートする情報提供を行うことができた。

2回目の講座は、繁多川公民館の利用団体でもあるハンタガーランドくとうば会の会員でもあり、東京大学院で沖縄の風習や民謡を研究している中国出身の施氏が講師となった。沖縄と歴史的な交流の深い福建省の風習との接点を、三線等の音楽や清明祭、ハーリーなどを比較しながら写真と共に紹介した。同時に、沖縄の文化が中国をルーツにしながらも独自の発展をしている一面に、受講生の気づきが多くったように感じた。本人も生演奏で沖縄の汗水節を三線演奏し、中国語にも翻訳し文化交流を具現化した。最後に、受講生からも日本と中国の架け橋になってもらいたいとエールを送り、講師と受講生が互いに学びあうような社会教育らしい場となった。



《講演する國吉 信雄 氏》



《汗水節を演奏する施 堯 氏》

琉歌で楽しく、あたまの体操

趣旨：外出することに気が進まない高齢者の方を中心に、沖縄の伝統的な文化である琉歌を通して参加者同士が楽しく交流し、琉歌を学ぶ機会とする。

期間：令和2年2月20日（木）～3月5日（木）全3回

時間：13:00～15:00

場所：那覇市繁多川公民館 研修室2

対象：那覇市在住・在勤・在学及び関心のある方

受講料：無料（但し、資料代・保険代300円は自己負担）

定員：10人

申込み人数：10人（うち受講決定人数5人）

参加延べ人数：19人

日 時	内 容	講師名・協力	人 数
2月20日（木）	第1回「琉歌の基礎を学ぶ」 琉歌の基本的な知識や詠む際のポイントなど、初心者にも分かりやすく説明して頂いた。	講師：与儀 千鶴子氏 琉球新報 琉歌投稿欄「琉歌や肝ぐすり」選者	10人
2月27日（木）	第2回「琉歌を詠んでみよう」 前回学んだ知識をもとに実際に琉歌を詠み、講師に添削をして頂き、作品を発表した。	講師：与儀 千鶴子氏 琉球新報 琉歌投稿欄「琉歌や肝ぐすり」選者	9人
3月5日（木）	第3回「琉歌を披露しよう」 新型コロナウイルスの影響により中止		

(参加者の声)

今まで琉歌を学びたいと思っても学べる機会がなかったので、参加してとても勉強になった。

方言に詳しくないので自分にはできないと思っていたが、実際に参加してみて方言がわからなくても琉歌を詠む方法が学べた。

参加者同士で交流もでき楽しかった。

(まとめ)

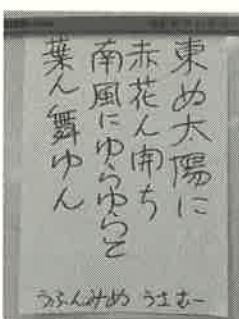
今回の講座は、地域の方から「琉歌を学びたい」、「家からあまり外出をしない高齢者を誘い出すきっかけとしたい」といったお声を頂き、企画し実施となった。

講師から琉歌の基本を丁寧にご説明頂き、参加者も真剣に聞き入り積極的にメモをとる姿が多く見られた。

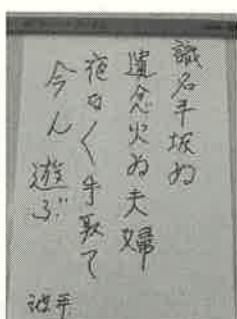
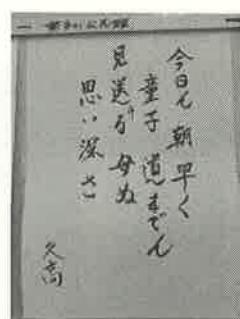
最終回は新型コロナウイルスの影響で中止となってしまったので、次年度もまた琉歌に親しめるような講座を実施できるとよい。



《講座の様子》



《受講生が詠んだ琉歌》



見て！食べて！聞いて！真地を知ろう！

趣 旨：真地にある複合的な機能をもつ沖縄小児在宅地域連携ハブ拠点「Kukuru+」を地域の拠点として、地域自治会や地域住民、利用者がつながりを持ち、連携できる機会とする。

期 間：令和2年2月12日（水）～2月26日（水）全3回

時 間：12：30～15：00

場 所：Kukuru+、真地自治会（真地公民館）

対 象：那覇市在住・在勤・在学及び関心のある方

受 講 料：無料（但し、軽食代・資料代・保険代650円は自己負担※26日のみ軽食代1,000円）

定 員：各回30人

申込人数：15人（2/12）・31人（2/19）・23人（2/26）（うち受講決定人数10人）

参加延べ人数：69人

連 携：(一社) Kukuru+、真地自治会、六屯（ろっとん）

日 時	内 容	講師名・協力
2月12日（水）	第1回「地域のことを聞いてみよう」 地域のことについて詳しい真地自治会の方々を招待し、「食」、「史跡・名所」、「年中行事」のテーマに分かれて参加者が聞き取りを行う。	講師：真地自治会 軽食提供：六屯
2月19日（水）	第2回「地域を歩いてみよう」 真地地域の史跡や名所、昔からある道などを真地自治会の方に案内していただき、地域のまち歩きを行う。	講師：真地自治会 軽食提供：六屯
2月26日（水）	第3回「地域食材でランチ」 地域の方からご提供の野菜や、地域にゆかりのあるお豆腐を使用したランチメニューを六屯さんに作っていただき、参加者で食べながら交流を行う。	協力：真地自治会 昼食提供：六屯

(参加者の声)

戦時中の貴重な話や、身近なところに地域の宝があることを実際に歩いて聞いて感じることができた。

地域の方とのふれあいがとても楽しかったし勉強になった。

地元だが初めて知ることが多かった。継続して子どもたちにも伝えていきたい。

(まとめ)

講座では真地自治会の皆さんや地域で活躍されている方のご参加があり、様々な立場の方が講座を通して交流する良い機会となった。

第3回は新型コロナウイルスの影響で内容と場所を一部変更しての開催となり残念だった。

次年度以降も継続して地域の方からの聞き取りやまち歩きなどを実施し、地域の歴史文化を伝え、次世代へ語り継ぐ資料としても蓄積していくよい。



《地域のことを聞いてみよう》



《地域を歩いてみよう》



《地域食材でランチ》

4 青少年対象事業

[1] 少年教室

夏休み特別教室

趣 旨：児童生徒を対象に夏休み期間中に様々なプログラム体験を準備し創造性豊かな人間形成をめざして集団学習・異世代交流の機会を提供する。

期 間：令和元年7月26日（金）～8月23日（金）※日時については下記の表参照

場 所：那覇市繁多川公民館及びその周辺

時 間：学習プログラムにて異なる（下記参照）

対 象：那覇市在住・在勤・在学及び関心のある方

受 講 料：無料（各体験ごとの保険料・材料費は自己負担）

定 員：学習プログラムにて異なる（下記参照）

参加延べ人数：166人

協 力：那覇市繁多川公民館 利用団体連絡会／繁多川すぐりむん／那覇市食生活改善推進協議会
楚南 光子 先生（染物）／羽地 初枝 先生（茶道）

（学習プログラム）

体験内容	指導サークル	期日	保険代 材料代	定員 (参加延べ人数)
太極拳と カンフー	太極拳サークル	7月26日（金）/8月2日（金） 8月9日（金）/8月16日（金） 8月23日（金） 15:00～16:00（全5回）	50円	6人 (10人)
点字学習 模擬体験	のびのび体操	8月8日（木）/8月15日（木） 8月22日（木） 13:00～14:00（全3回）	150円	5人 (12人)
料理教室	那覇市食生活改善 推進協議会	8月2日（金） 10:00～13:00	500円	30人 (30人)
染物教室	楚南 光子 先生	8月5日（月）10:00～12:00 8月6日（火）13:00～15:00 (全2回)	300円	20人 (20人)
ペタンクで 遊ぼう	繁多川ペタンク 同好会	7月26日（金）/8月2日（金） 8月9日（金）/8月23日（金） (8/2・9・23は雨天中止) 10:00～12:00（全4回）	50円	15人 (3人)
茶道教室	羽地 初枝 先生	8月5日（月）11:00～12:00	250円	5人 (7人)
昔ながらの 豆腐作り体験	繁多川すぐりむん	8月7日（水）10:00～14:00 8月9日（金）10:00～14:00	250円	50人 (59人)
火おこし体験	繁多川すぐりむん	8月16日（金）9:00～12:00	500円	20人 (25人)

（利用者の声：アンケートより）

共同作業をして、工程を学んでいくのが面白かった。

始めはとても簡単そうに見えたけど、実際にやってみると難しかった。

（まとめ）

野外でのプログラムは、雨天の際に室内でもできるプログラムの設定が必要だと感じた。講座によっては定員を超える申し込みがあり、その際、指導サークルや講師の先生と相談して受け入れをしていただき、全申込み者に対してプログラムを提供することができた。

〔2〕青年講座

公民館でジュニアボランティア

趣 旨：青年を対象に地域や異年齢間と関わりを持つきっかけとする。また、ボランティアを行うことで、コミュニケーション能力の向上、豊富な知識の取得などを目指すとともに、個人の成長や将来社会に出たときの自信に繋げるきっかけにし、地域の担い手を育成する。

期 間：平成31年4月26日（金）～令和2年1月4日（土）

時 間：16:00～18:00（平日）・9:00～17:00（休日）

場 所：那覇市繁多川公民館とその周辺

対 象：真和志地域の中学校及び高校

受 講 料：無料

定 員：無し

参加延べ人数：346人

参 加 校：石田中学校／松城中学校／寄宮中学校／沖縄尚学付属中学校
沖縄工業高校／真和志高校／沖縄尚学高校／首里高校



《繁多川夏まつり集合写真》

期 間	内 容	参加延べ 人 数
平成31年 4月26日（金）	－ボランティア説明会－ 趣旨や活動方法について説明を行う。	6人
令和元年 5月9日（木） ～ 9月30日（月）	前期ボランティア活動期間 (日頃の公民館のお手伝いや講座の補助、地域活動など)	121人
7月28日（日）	三原区自治会夏まつりへボランティア参加	2人
8月10日（土）	繁多川夏まつり当日のボランティア参加	26人
10月28日（月）	－前期修了式－ (前期の最多参加者の表彰、3年生の引退式、前期ふりかえりなど)	1人
10月1日（火） ～ 2月28日（金）	後期ボランティア活動期間 (日頃の公民館のお手伝いや講座の補助、地域活動など)	78人
10月13日（日）	那覇大綱挽まつりへボランティア参加	5人
11月16日（土） ～11月17日（日）	識名園友遊会の前日及び当日のボランティア参加	65人
12月6日（金） ～12月7日（土）	公民館まつりの前日及び当日のボランティア参加	5人
令和2年 1月4日（土）	新春もちつき会のボランティア参加	37人

（まとめ）

去年から継続的に活動を続けている生徒が多数みられる。積極的にボランティアへ参加し、地域との交流を深めている。地域の方々から「ジュニアボランティアを頼りにしている」「とても助かっています」などの声も届いていて、地域の担い手を育成する基盤になっているのではと感じている。一方で、後期になると参加者が減少するなどの課題も見受けられる。

今後は、参加する中高生のニーズも調査し、より気軽にボランティア活動ができる環境を作っていくたい。

5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

出張保育「いしだエンジョイ育児」

趣 旨：地域の保育園の社会貢献とタイアップで安心して子育てできる地域の拠点を目指す。
また「公民館」に行ったら「子育てのプロが相談にのってくれるお助けマンやウーマンがいる」と子育て世代の心の拠り所となれることを目指す。小さい頃から顔見知りになり、地域の地縁に結び付け、途切れることのない関わりを構築する。また、アンケートの要望にある月複数回開催できるように地域の他の保育園に社会貢献の協力を呼びかける。

期 間：平成31年4月15日（月）～令和2年3月16日（全12回内1回は中止）
時 間：10:00～12:00
場 所：繁多川公民館 和室
対 象：那覇市在住・在勤の親子
受 講 料：無料
定 員：無し
参加延べ人数：54人
共 催：社会福祉法人 弘文会いしだ丘保育園
協 力：大城 直子（繁多川すぐりむん）



《活動風景》

実施日	内 容	参加人数
第1回 平成31年4月15日（月）	こいのぼり製作（手作り玩具）／紙芝居「はたらくくるま」	4人
第2回 令和元年5月20日（月）	ハンカチあそび／ボールあそび	8人
第3回 6月17日（月）	お遊戯（アンパンマン音頭）／リズム遊び	9人
第4回 7月 8日（月）	ぽつとんおとし作り（手作り玩具）	7人
第5回 8月19日（月）	ひんやりシート遊び（感触遊び） ソフリング輪投げ（手作り玩具）	2人
第6回 9月 9日（月）	いないいいばあ～棒作り（手作り玩具） 運動遊び（ソフト平均台・トンネルくぐり）	2人
第7回 10月21日（月）	ハロウィン衣装製作（黒マント・お菓子入れ作り）	2人
第8回 11月18日（月）	ミルク缶太鼓作り しゃかしゃかマラカス作り（手作り楽器）	4人
第9回 12月16日（月）	だるま落とし作り／こま作り（手作り玩具）	7人
第10回 令和2年1月20日（月）	節分鬼のお面製作／新聞紙豆作り	4人
第11回 2月17日（月）	ひな人形製作（紙皿人形ひな作り）／段ボールで遊ぼう	5人
第12回 3月16日（月）	新型コロナ感染症防止のための中止	なし

（参加者の声）

「当日参加OK！がうれしい」「色々なおもちゃがあって広いスペースで遊べてよかったです」「同年代の子どもがいて良かった」「久しぶりに次女と参加したが人見知りの娘が泣かずに楽しんでいたのでとても良かった」等、沢山の喜びの声があった。

（まとめ）

今年度は、昨年度のアンケートに月開催回数を月1回から複数回に増やしてほしい。という声に応えて例年社会貢献してくれている園だけでなく他の園に声かけしたが実現できずに終わった。リピーターの増加があり、次年度も地域の「子育て応援ステーション」を目指し毎週開催できるように地域の他の園に社会貢献してもらえるように声掛けしていく。

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

あたいぐわープロジェクト

趣 旨：沖縄在来種の青ヒグーを子どもが育て、「昔の繁多川豆腐」を再現する中で、食文化の継承（味と製造過程）とさらなる地域の活性化に寄与する。

期 間：令和元年5月13日（月）～令和2年3月16日（月）

時 間：学習プログラムにて異なる（下記参照）

場 所：那覇市繁多川公民館及び各小学校

対 象：識名小学校／真地小学校／上間小学校

受講料：無料 **定 員**：無し **参加延べ人数**：856人

共 催：繁多川自治会／上間自治会／かりゆし友の会

あたいぐわープロジェクト



《地域の歴史について in 真地小学校》

<学習プログラム>

期 日	内 容	連携先	人 数
5月13日（月） 18:00～21:00	あたいぐわー懇親会	あたいぐわー プロジェクト 公民館職員	あたいぐわープロジェクト 公民館職員 14人
5月29日（水） 13:00～14:50	講 話 『地域の歴史について』	識名小学校	児童／教員／公民館職員 114人
9月3日（火） 13:00～15:30	クルマンボウ体験	識名小学校 繁多川自治会	児童／教員／繁多川自治会 公民館職員 119人
9月9日（月） 9:30～10:30	クルマンボウ体験	真地小学校 かりゆし友の会	児童／教員／かりゆし友の会 公民館職員 84人
9月10日（火） ～9月12日（木） 9:00～12:30	豆腐作り体験 クルマンボウ体験	上間小学校 上間自治会	児童／教員／上間自治会 公民館職員 104人
9月25日（水） ～9月27日（金） 8:30～12:30	豆腐作り体験	識名小学校 繁多川自治会	児童／教員／繁多川自治会 公民館職員 139人
令和2年 1月10日（金） 8:30～10:30	講 話 『地域の歴史について』	真地小学校 かりゆし友の会	児童／教員／かりゆし友の会 公民館職員 83人
1月17日（金） 8:30～12:30	豆腐作り体験	真地小学校 かりゆし友の会	児童／教員／かりゆし友の会 保護者／公民館職員 115人
3月16日（月） 9:45～10:30	総合学習発表会	真地小学校	児童／教員／かりゆし友の会 公民館職員 84人

(まとめ)

自治会から新しい方々の参加や地域の方々の協力の元、今年も無事に終える事ができた。

近年は在来大豆（青ヒグー）の栽培が上手くいかなかった。又、情報共有が上手く行えず、授業の直前になって慌ただしく準備を行った。次年度は先生方や地域の方々と連携を密に行い、学習プログラムの充実を図る。

真和志地区地域活性委員会

趣 旨：自治公民館及び自治会相互の連絡提携や学習活動等を通して、真和志地区の教育力の向上を図る。
期 日：令和元年7月17日（水）
時 間：18:00～19:00
場 所：真和志支所2階 会議室
対 象：真和志地域の各自治会会长並び会員
受 講 料：無料
定 員：無し
参加延べ人数：11人
主 催：真和志地区地域活性委員会
(まとめ)

本会の趣旨や行事が「真和志自治会会长連絡協議会」と同じである点から、本会を「真和志自治会会长連絡協議会」の下部組織にした方が良いのではという提案があった為、事務局は交渉調整を行った。その結果、次年度の真和志自治会会长連絡協議会総会にて下部組織として組み込まれる事が決定し、今後の事業を進めていく事になった。それに伴い名称を「真和志地区自治公民館長連絡協議会」から「真和志地区地域活性委員会」へ変更し、役員や規約も刷新され、新体制で臨むことが決定した。

第19回 真和志地区スポーツレクリエーション大会

趣 旨：真和志地域の老若男女が、スポーツレクリエーション「グラウンドゴルフ大会」を通して親睦を深め地域活動の活性化を図る。
期 日：令和2年2月23日（日）
時 間：9:30～12:30
場 所：真嘉比遊水地 下池
対 象：真和志地域の自治会の老若男女
受 講 料：無料（但し、保険代・景品代500円は自己負担）
定 員：90人（18チーム）
申込人数：50人（うち受講決定人数30人）
参加延べ人数：なし
主 催：真和志地区地域活性委員会
協 力：JAおきなわ真嘉比支店
(まとめ)

今年度は新型コロナウィルスの影響により、開催中止となった。参加者からは「せっかく楽しみにしていたのに残念だね」との声が多く寄せられた。

準備段階での課題として、自治会の行事と重なり、不参加となった自治会もあった為、次年度は自治会のスケジュールを確認し、開催日の調整を行いたい。

今年度から会場をこれまでの真嘉比中央公園から真嘉比遊水地に変更し、それに伴い、軸となる自治会も真嘉比自治会から松島自治会へと移行した。次年度も会場は真嘉比遊水地を想定し、協力団体やスタッフの確保しながら企画運営を行う。

新春もちつき会

趣 旨：地域で活動する団体や若者たちと連携して、地域の人々が交流を深めることのできる「新春もちつき会」を開催し、地域力の活性化をめざす。また、地域や近隣で健全育成や文化継承を行っている団体に、活動発表の場を提供し、今後の活動の発展を願い、来館者が伝統文化に触れる機会とする。

期 日：令和元年12月26日（木） 10：00～11：00（ボランティアスタッフ会議）
令和2年 1月 4日（土） 9：00～11：00（打合せ・準備）
11：00～13：00（新春もちつき会）
13：00～14：00（片付け・ふり返り会）

場 所：那覇市繁多川公民館 実習室、和室、3階ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料 ※皿・箸・コップは個人持参

定 員：無し

参加延べ人数：350名（内ボランティアは約40名）

共 催：繁多川自治会

出演団体：繁多川子ども会はばたき、繁多川三線サークル、真和志高校手話部

ボランティア協力団体：那覇市子ども会育成連絡協議会、石田中校区成人式実行委員会

ボランティア参加校：石田中学校/松城中学校/神原中学校/寄宮中学校/小禄中学校/那覇中学校

沖縄工業高校/真和志高校/沖縄尚学高校/サイ・テク・カレッジ美浜校

<プログラム>

- ・オープニング 繁多川子ども会 はばたき エイサー演舞
- ・あいさつ 繁多川自治会 会長 新田 勇
- ・余興 真和志高校手話部 舞台パフォーマンス
- ・あいさつ 繁多川三線サークル 三線演奏
- ・あいさつ 石田中校区成人式実行委員会
- ・もちつきデモンストレーション
- ・バルーン作り体験
- ・あいさつ 繁多川公民館 館長 南 信乃介

（まとめ）

地域の中高生ボランティアスタッフ約40名と地域の新成人と共に運営を行った。地域の児童や高齢者、当館を利用している方々を中心に多くの来場があった。今年の体験コーナーとして、バルーンづくりを開催し沢山の子ども達が楽しんで参加していた。来年への展望として、毎年メンバーが入れ替わる中で、運営の中心を担う子ども達をどう育てていくかという点がある。



《準備を行う Jr. ボランティア》



《繁多川子ども会はばたきによる演舞》



《真和志高校手話部による舞台パフォーマンス》



《もちつきを楽しむ子ども達と補助する新成人》



《子ども達に大人気！バルーンづくりコーナー》

総合的学习プロデュース

趣旨：地域の文化継承や教育力の向上と活性化を目指して、地域関係団体と連携した事業を開催。
地域の学習団体の相互の研鑽を目指し、実践発表と研修の機会を提供する。

期間：令和元年6月5日（水）～8月29日（木）

時間：学習プログラムにて異なる（下記参照）

場所：那覇市立石田中学校／那覇市立松城中学校／繁多川地域／上間地域／真地地域

対象：真和志地域の中学校

受講料：無料

定員：無し

参加延べ人数：570人

主催：那覇市立石田中学校1学年、那覇市立松城中学校2学年

共催：繁多川自治会／上間自治会／真地自治会

<学習プログラム>

期日	内容	参加人数
6月 5日（水） 14:00～15:00	那覇市立松城中学校2学年 総合学習オリエンテーション	90人
6月 12日（水） 13:00～15:00	那覇市立松城中学校2学年 地域まーい、戦跡まーい、豆腐作り体験	90人
7月 9日（火） 15:00～16:00	那覇市立石田中学校1学年 総合学習オリエンテーション	130人
8月 28日（水） 15:00～16:00	那覇市立石田中学校1学年 自治会の歴史を知ろう（3自治会長講話）	130人
8月 29日（木） 9:00～12:00	那覇市立石田中学校1学年 地域まーい（繁多川地区／上間地区／真地地区）	130人



《地域まーい》



《戦跡まーい》



《豆腐作り体験》

(まとめ)

担当教諭が初めてとの事で、各自治会との連絡体制も含め打合せを4～5回行い、スムーズに進められたが、最後の発表会への連絡が無かった為、まとめなど見ることができず残念である。次年度には年間計画を通しての打合せが必要である。

今年度より、那覇市立松城中学校の地域学習への取組みが行われた為、次年度も継続できるように、担当教諭と調整を行う。

第21回 識名園友遊会

趣旨：真和志地域の誇りである世界遺産・国指定特別名勝「識名園」を会場として活用し、青少年団体等における伝統文化の継承と新しい文化の創造、青少年の健全育成と地域の活性化および文化財保護の啓発を図ることを目的として開催する。

内容：真和志地域の児童生徒による地域の伝統芸能を中心とした演舞発表を行うとともに、体験コーナー、出店コーナーを設ける。

日時：令和元年11月17日（日曜日）

時間：【体験コーナー】 11:00～16:00（しめ縄づくり、首里城を描こう等）
 【出店コーナー】 11:00～16:00（飲食、タピオカ等）
 【演舞発表】 12:00～16:00
 【御殿プログラム】 13:00～15:00（金細工またよし 作品展示会等）

場所：世界遺産特別名勝「識名園」 **対象**：世界遺産特別名勝「識名園」来園者

受講料：無料（「識名園友遊会」開催日のみ） **参加延べ人数**：約2,000人

主催：識名園友遊会実行委員会

共催：真和志自治長連絡協議会／真和志地区地域活性委員会／沖縄県立真和志高等学校／那覇市那覇市教育委員会／NPO法人1万人井戸端会議



《安里フェーヌシマ》



《国場ウズンビーラ》



《上間の獅子舞》



《松島青年会エイサー》



《来園者で描いた首里城》



《首里城復興募金活動》



《金細工 又吉健次郎氏実演》
 (まとめ)



《識名園案内親方》



《しめ縄づくり》

今年は首里城焼失という大きな出来事があった中で迎えた識名園友遊会となった。それに伴い会場設営、スタッフ配置等様々な変更があったが、実行委員、スタッフ、行政一丸となって乗り越えた。

「1日も早い首里城復興への願いを込めて同じ世界遺産である識名園から発信しよう！」という実行委員の想いから、「首里城への想いを語る（琉歌）」「願いをこめて。大きな首里城をみんなで描こう」の追加プログラムを行った。その様子はOTV、NHK、琉球新報等でも取り上げられ、大きな反響を呼んだ。今年の御殿内で行うプログラムの目玉として、金細工またよしの又吉健次郎さんによる実演会、伝統組踊保存会伝承者宮城茂雄さんによる記念演舞かぎやで風、沖縄県指定無形文化財 沖縄の空手・古武術保持者仲本政博さんによる空手演武が行われ、世界遺産での文化発表にふさわしい演目となった。沖縄尚学高校の学生による伝統芸能 国場ウズンビーラの演舞を始め、会場設営・運営等のボランティアも例年同様、真和志高校や沢山の若者ボランティアが活躍し、当会の趣旨である青少年の健全育成、伝統文化の継承に大きく寄与する会となつた。

ちいさなロビー展

趣 旨：地域住民の交流の場と情報交換ならびにコミュニケーションを深める場として、各人・各学校・各団体の作品発表の場にする。

期 間：平成31年4月～令和2年3月

時 間：9:00～21:30

場 所：那覇市繁多川公民館 階段掲示板／2階ロビー

見学延べ人数：約14,000人

<展示内容>

回	期 間	タ イ ド ル	提供（協力）先
1	6月	・慰霊の日関連展示「当時の繁多川の子ども達」 ・慰霊の日関連企画 「地域で戦争を語りつぐための戦跡巡り」 ～繁多川周辺の壕ってどんなところだったの？～	証 言：地域の皆さん 案内人：柴田一郎 氏 ：波平元維 氏
2	7月	・七夕	竹 寄 贈：知念堅亀 氏 短冊寄贈：与儀喜邦 氏
3	8月～9月	・繁多川夏まつり写真展	繁多川自治会
4	10月～11月	・秋のプチ美術展	繁多川公民館 写真提供：宮城ヨシ子 氏
5	12月～1月	・クリスマスツリー展示	繁多川公民館
6	2月～3月	・公民館まつり写真展 ・ひなまつり「七段飾りの雛人形」	繁多川公民館 写真提供：知念盛義 氏
常 設 展 示	通 年	・豆腐づくりに関する農具展示と写真展 ・「繁多川旧跡・歴史的地名地図」展示 ・分離機（トーミー）展示 ・昔の道具や地域関連の資料展示	機材・資料：地域の皆さん

(まとめ)

今年度は、来館者が参加できるような展示を心掛けた。6月は慰霊の日関連企画として地域の壕をもっと地域住民に知っていただくための壕巡りを企画した。同じく慰霊の日関連展示では、参加型展示として子ども向けコーナーを設け、子どもから戦争体験者の方々に当時の様子を質問できるようにした。沢山の地域住民が参加し、一つの展示品を作りだすことが出来た。また、貴重なお話もたくさん聞くことができた。

次年度以降も、観るだけではなく参加して一緒に作っていけるような展示をなるべく多くしていきたい。また、沢山の人に足を運んでいただけるようなニーズに合った展示を心掛けていきたい。



《県庁壕の見学》



《「慰霊の日」に関する展示》



《みんなのお絵描きコーナー》

いどばたごはん会

趣 旨：地域で支援が必要な子ども・家庭に対し、学校や自治会、民生委員児童委員との連携で月に1回の夕ご飯をつくり、仲間と過ごすことで、安心できる仲間（大人や友達）と出会える居場所となり、地域の資源を有効活用し持続可能な仕組み作りを構築し自立した運営のもと、孤立解消を目的とする。

期 間：平成31年4月22日（月）～令和2年2月17日（月）毎月第4月曜日

時 間：16:30～19:30

場 所：那覇市繁多川公民館 調理実習室

対 象：那覇市在住・在勤・在学

受 講 料：無料（実費徴収として100円。ただし児童生徒がボランティア活動を行うと免除制度あり。）

定 員：無し

参加延べ人数：150名

共 催：こどもの居場所支援 kukulu／いどばたごはん会プロジェクト

（主な活動スケジュール内容）

内 容	備 考
いどばたごはん会（毎月第4月曜日） ①係分担・買い出し・調理 ②会食・交流 ③送迎・片づけ	皆で作業分担し調理し会食する。 メニュークリエストタイムで次回のメニュー決定。 終了時間が遅いので、大人が家まで送る。
kukuluとふりかえり会	個人別気づき、支援情報共有
協力関係者と連携	支援者から個別声かけ／保護者にメールで連絡する。
いどばたごはん会プロジェクト報告会 支援情報共有及び次年度事業計画	kukulu、主任児童員等 真和志第2民生委員児童委員

（まとめ）

平成28年度からの継続で持続可能な仕組み作りを視野に入れながら、那覇市でこどもの居場所づくりを行っているkukuluと連携し、メンバーのアウトリーチの場所としても活用し、子ども達や家庭の孤立を「食」を通して地域で継続的サポートができるような繋がりを地域の公民館を拠点にスタートして丸4年である。kukuluのメンバーがリーダーとして会の運営をし、当日のいただき食材でメニューを考え、買い出し、調理を任せられる存在まで成長している。

特に社会的に孤立している家庭（福祉・教育のサポートが十分でない、機能しづらい状況が原因で生活保護、引きこもり、不登校となっている子どもや家庭）に対し、主任児童員、見守り支援員、スクールソーシャルワーカーが、学校や訪問支援をとおして参加を呼び掛けている。

今年度は、公民館をよく利用する子どもの参加と、親との繋がりが実現できたことが1番成果に感じたが転校してしまい短い関係で終わってしまった。その後、どうしているのか気がかりである。

また、食材や寄付金が地域の方々や公民館利用者、サークル活動として毎回届き、持続可能な仕組みになり「いどばたごはん会プロジェクト」に対する協力体制が確立してきていることは社会教育施設である「公民館」の特異性であると考える。



《kukuluのスタッフと会話しながら調理》



《ミートソーススパゲティー》



《当日差し入れの野菜天ぷら》

〔2〕学社融合事業

職場体験受入れ&お仕事先生プロジェクト

趣 旨：平和学習・お仕事先生・インターンシップ等、学生達に世代の違う人々の交流を行い、コミュニケーション能力を高め、社会対応能力を身につける。また、個人の成長や自信を深め、未来を担う人材育成と青年の活躍の場が増え、地域の活性化に寄与する。

期 間：令和元年5月22日（水）～令和2年2月28日（金）

時 間：学習プログラムにて異なる（下記参照）

場 所：那覇市繁多川公民館及び各中学校

対 象：那覇市立小中学校／沖縄県立・私立高校
県内外の大学／教育関係者

受講料：無料

定員：無し

参加延べ人数：1, 400人



＜学習プログラム＞

《社会保険社労士による講話》

期 日	内 容	参加人数
令和元年5月22日（水） 13:30～15:30	那覇市立石田中学校 2学年『ミッション提案型 企業講話』 50分×2回の講話及び質疑応答	143人
5月29日（水） 13:00～15:00	沖縄国際大学 講師派遣 『事例発表及びワークショップ』	120人
6月 6日（木） 16:00～17:30	沖縄看護大学 講師派遣 事例発表及びワークショップ	150人
6月11日（火） 8:30～9:30	那覇市立松城中学校 全学年 平和学習講話	240人
6月12日（水） 13:00～15:30	那覇市立石田中学校 2学年『ミッション提案型 企業講話』 クラス代表選考会審査	143人
6月19日（水） 8:15～9:25	那覇市立石田中学校 全学年 平和学習講話	380人
6月～10月	職場体験 中学校・・4校、高校・・1校、大学・・1校、企業・・1社	19人
11月～12月	職場体験 中学校・・1校、高校・・11校	31人
12月17日（火） 14:00～15:45	那覇市立石田中学校 1学年『お仕事先生』	129人
令和2年2月28日（金） 13:00～16:00	那覇市立小禄中学校 1学年『お仕事先生』 1グループ 15人×3回	45人

(実習生の感想)

公民館に訪れる人との出会いを大切にし、きちんと向き合うことによって、新たなプロジェクトを生み出すこともあるので、人との出会いは思わず心地よい繋がり、大きな力となることを実習を通して学びました。
(まとめ)

那覇市立石田中学校での1学年キャリア教育コーディネートでは、ミッション提案型 企業講話で11名（内、卒業生や地元企業の参加が9名）の方々が講師として参加し、生徒の働く事への疑問や気持ちに寄り添ってくれた。卒業生や地元企業の参加が多かった為、今後『あの時の講師の先生だ』と生徒達が登下校時に気軽に声を掛けコミュニケーションの輪が広がる事を期待したい。

[3] プロポーザル事業 子どもの居場所支援

しきな小放課後子ども教室

趣 旨：放課後の子どもたちが安心して過ごせる地域の拠点としての居場所づくりと公民館利用者または地域のすぐりむんによる企画・実施により、やりがいや生きがいにつながるとともに地域の子どもたちが地域とつながり「顔の見える関係性」の確立。今年度は、地域の事業所「童夢認定子ども園」のプール解放があり「地域の子どもも地域で育む」の好事例となる。

また、指導者である、すぐりむんの後継者育成や新たな人材発掘を目指して勉強会等を行う。

期 間：令和元年5月9日(木)～令和2年2月28日(金)

時 間：毎回 16:30～17:30

場 所：那覇市繁多川公民館／童夢認定こども園プール

対 象：識名小学校1～6年生

受 講 料：無料（但し、プール希望者は保険料・入水料500円は個人負担）

定 員：無し

参加延べ人数：1197人（登録児童数56人）

指導者：繁多川すぐりむん（与儀喜邦、波平元維、禰覇朝貞、久高将一

禰覇京子、阿波連栄行、喜友名マサ子、大城幸子、佐久本嗣生

具志のぞみ、柴田一郎）、板良敷朝栄、繁多川公民館Jrボランティア

＜実施プログラムより一部抜粋＞

活動日	活動内容	参加人数	活動日	活動内容	参加人数
5月 9日 (木)	ものづくり講習会	3人	10月 9日 (水)	ものづくり/卓球	50人
5月 15日 (水)	ものづくり/卓球/ボードゲーム	43人	11月 13日 (水)	学習支援/室外遊び	62人
6月 5日 (水)	ペタンク/卓球 大型スクリーンでゲーム	48人	11月 20日 (水)	ものづくり/卓球 ボードゲーム	52人
6月 11日 (火)	学習支援	3人	12月 11日 (水)	大型スクリーンでゲーム 卓球/ボードゲーム	53人
7月 3日 (水)	ペタンク/卓球/ボードゲーム	57人	12月 12日 (木)	ものづくり講習会	5人
7月 10日 (水)	大型スクリーンでゲーム 卓球/室外遊び	48人	12月 27日 (金)	プール水遊び	40人
8月 6日 (火)	学習支援	4人	1月 8日 (水)	室外遊び/卓球 ボードゲーム	42人
8月 7日 (水)	卓球/ペタンク/室内遊び	23人	1月 15日 (水)	ものづくり/ボードゲーム 室外遊び	44人
9月 4日 (水)	室外遊び/室内遊び/卓球	35人	1月 24日 (金)	プール水遊び	42人
9月 30日 (月)	すぐりむん認定式	38人	2月 12日 (水)	卓球/室外遊び 大型スクリーンでゲーム	42人

（まとめ）

去年に引き続き地域の事業所「童夢認定子ども園」のプール解放については子どもたちが大喜びだった。
「大人のものづくり講習会」を月1回開催できた。初めての取組みではあったが、講習を受けた方がサポートとして講座に参加したりするなど、後継者育成の課題に対して寄与することが出来た。

すぐりむん認定は、今年で97名になった。今後は、活躍の場を増やすと共に、地域で頑張っている方や輝いている方を引き続き認定していきたい。

課題としては、学童に通う児童の参加が多く、学童外の児童の参加が少ない。もっと幅広い子ども達が参加できるような広報や仕組みづくりを次年度は模索していきたい。



《鬼ムーチーづくり》

コミュニティ支援

地域計画

趣 旨：少子高齢化の中、財政の厳しさも増し、公共が担い続けられる事業も縮小傾向にある。高齢者の孤立、孤独死、多くの課題を抱える家庭、働いても働いても暮らしが改善しないワーキングプア、県民の30%が貧困という現状の中、地域ネットワークが教育や福祉・防災部を構成し自らの手で、できる課題解決に寄与する。

期 間：令和元年8月～令和2年2月

時 間：9:00～13:00

場 所：繁多川公民館およびその周辺

対 象：那覇市在住・在勤・在学及び興味のある方

受講料：無料 定員：無し 参加延べ人数：445人

共 催：識名小学校区放課後子ども総合プラン
那覇市地域包括支援センター繁多川

協 力：繁多川自治会、琉球大学清水研究室
那覇市まちなみ整備課、那覇市市民生活安全課
《教育部会》（識名小学校区放課後子ども総合プラン）



《プレーパークの様子》

プロジェクト名	内 容	参加人数
放課後子ども総合プラン会議（不定期開催）	・会議運営／プレーパーク勉強会／アンケート調査	55人
はんたがわプレーパーク（毎月第3土曜日）	・8月～2月 全6回 ・ダンボールあそび・ムーチー作り等	202人

（アンケートより）

公民館のように大人がいて友達と遊べる場所があると助かる。

識名小でサポーターの方が朝の立哨をしてくれるおかげで朝安心して子どもを登校させることができる。
本当に良い取組だと思う。

（まとめ）

今年度識名小学校全児童・保護者対象に放課後の過ごし方や地域への関心についてアンケート調査を実施。回答率保護者372(49%)児童314(47.5%)の協力をいただき、集計し報告会を開催。次年度は「プレーパーク」の開催日数増を目指し、識名小エリアのいろんな場所で展開していくながら「地域のみんなの居場所（高齢者から乳幼児まで）」に実現化していく。

《福祉・防災部会》

内 容	備 考	参加人数
地域の見守り	・ご近所同士の見守り ・繁多川4丁目ご近所避難訓練 ・サークル参加推奨	87人
空き家・空き地の調査	・現地調査（琉球大学） ・勉強会 全2回	30人
災害時の避難方法 場所と支援物資	・行き止まり調査 全3回 ・避難訓練 ・避難、救助路表示設置	71人



《避難訓練》

（まとめ）

那覇市地域包括支援センターと共に、計画に基づいた企画が実施することができた。行き止まり調査から避難・救助路表示につながり自助を助けるまちづくりにも繋がった。またエリアを限定し、ご近所のつながりを通した避難訓練もいざという時にも活きてくる気づきがたくさんあった。次年度も、ご近所のつながりを活かした見守りや安心安全のまちづくりにも住民と共に実施したい。

グローバル公民館 エジプトと沖縄でグローバルミーティング

趣 旨：「アラブの春」後の民主化が起ったエジプトで、日本の民主化を支えた公民館設立に貢献し、公民館の活用の幅を広げ社会教育を促進する。また、合同講座グローバル公民館を開講し、相互のまなびあいを通してグローバル人材の育成とする。

期 間：令和元年8月30日（金）～令和2年3月6日（金）

時 間：16:00～18:00

場 所：繁多川公民館、神奈川県、エジプトカイロ近郊

対 象：那覇市在住・在勤・在学及び関心のある方

受 講 料：無料 定 員：無し 参加延べ人数：434人



《学習プログラム》

期 日	内 容	講 師 ／ 備 考	人 数
8月30日（金） 場所：繁多川公民館 エジプト	オンライン講座 「エジプトと日本の歴史を比べてみよう」	アドバイザー イブラヒム エルサムニ氏（沖縄国際大学非常勤講師） 連携：沖縄県立看護大学、Jrボランティア	26人
9月14日（土） 場所：繁多川公民館	公開セミナー 「エジプトの学校における特別活動報告」について	JICAエジプト 大村佳史所長、沖縄大学 黒木義成教授 青年海外協力隊エジプト派遣 加藤奏太元隊員、南信乃介	24人
9月20日（金） 場所：繁多川公民館 エジプト	オンライン講座 「グローバルニュースでディスカッション」	アドバイザー イブラヒム エルサムニ氏（沖縄国際大学非常勤講師） 連携：沖縄県立看護大学、Jrボランティア	23人
9月27日（金） 場所：繁多川公民館 エジプト	オンライン講座 「食文化について」	アドバイザー イブラヒム エルサムニ氏（沖縄国際大学非常勤講師） 連携：沖縄県立看護大学、Jrボランティア	26人
令和2年 1月15日（水） 場所：エジプト	国立AINシャムス大学 セミナー 「公民館とアントレプレナー」	共催：AINシャムス大学教育学部 講師：西山佳孝氏（同プロジェクトアドバイザー）、南信乃介、モハメド アブデルミギード氏	35人
1月16日（木） 場所：エジプト	国立アスワン大学 セミナー 「公民館とEdu-port 公認プロジェクトについて」	共催：アスワン大学教育学部 講師：西山佳孝氏（同プロジェクトアドバイザー）、南信乃介、モハメド アブデルミギード氏	108人
1月18日（土） 場所：繁多川公民館 エジプト	エジプト在日本大使館 「キックオフ説明会」	協力：日本大使館	130人
2月 3日（月） 場所：神奈川県	横浜 BUKATSUDO 「エジプトに公民館をつくろう。エジプト報告ミーティング」	報告者：モハメド アブデルミギード サイード、西山 佳孝、南 信乃介	22人
2月28日（金） 3月 6日（金） 場所：エジプト	AINシャムス大学学習会	エジプトチーム学習会	40人

（まとめ）

今年度は、文部科学省の日本型教育の海外展開推進事業パイロット事業に採択され、エジプトとの学習機能を深めることができた。また小学生、中学生、高校生、大学生などもオンラインでの参加があり、若い世代のグローバルな交流の場も生まれた。また相互の料理を紹介し、歴史や文化を学んだり英語での自己紹介も入れるなど互いが勉強したいことをWin-Winで取り組むことができた。また、エジプトに公民館活動を促進するチームができ、活動を始めている。

7 公民館まつり

第14回 繁多川公民館まつり『利用団体成果発表会』

趣 旨：学習成果発表（舞台、作品展示）を中心に、サークル間の交流や情報共有を目指し、地域へ開かれた公民館としての活動を知ってもらう機会とする。

期 間：令和元年12月6日（金） 13:00～21:00 展示
12月7日（土） 9:00～17:00 展示・舞台発表・体験コーナー
17:00～19:00 ふり返り会

主 催：繁多川公民館利用団体連絡会

共 催：繁多川公民館、繁多川図書館、繁多川自治会、あたいぐわープロジェクト、
那覇市地域包括支援センター繁多川、日本赤十字社沖縄支部

会 場：那覇市繁多川公民館 参加のべ人数：約1,570人



《自治会による豆腐作り》



《あたいぐわーPJ 野菜販売》



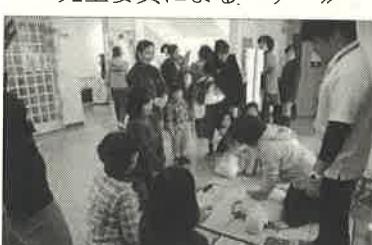
《児童委員によるバザー》



《学童クラブ バザー》



《成人式実行委員会 沖縄そば》



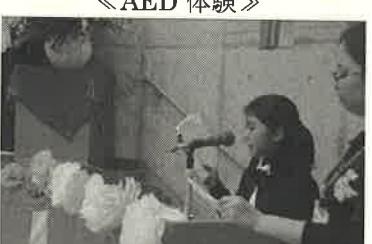
《AED 体験》



《利用団体舞台発表》



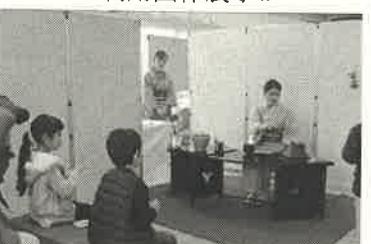
《利用団体展示》



《司会も頑張ってます》



《山形のもちつき》



《茶道体験》



《ふり返り会の体操》

（まとめ）

年に一度の成果発表の場として、毎年、利用団体連絡会が主体となって準備から運営までを行っている。地域からは繁多川自治会、あたいぐわープロジェクト、成人式実行委員会、福祉作業所、那覇市地域包括支援センター繁多川、日本赤十字社沖縄支部等の出店・出演があり、広く交流が生まれた。加えて中高生のボランティアが運営に活躍し、来場者も利用者の家族等多世代にわたり和やかに華やかに盛り上がった。さらに、今年度は繁多川地域と交流のある山形県からの参加もあり地元の食文化がふるまわれ、まつりに花が添えられた。次年度は、ふり返り会やアンケートにより、舞台運営や展示方法等についてご意見を頂いたので、改善していくたい。また、定期利用団体が年々減少しているので、新しい活動のきっかけづくりが必要であると感じた。

